

令和3年度一般会計決算など5議案について質疑

開会中の9月定例議会は9月7日に議案質疑が行われ、日本共産党の山岡光広、岡田重美、西山実の各議員が、一般会計決算、国保・介護特別会計決算、水道事業会計決算、介護老人保健施設事業会計の5

議案について質疑を行いました。今回質疑を行ったのは、日本共産党の3議員と凜風会の西村慧議員のみ。8日から13日まで4日間の予定で、委員会代表質問・一般質問が始まりました。

山岡光広議員

〈一般会計決算〉

山岡議員は、一般会計歳入歳出全般にわたって特徴点を質疑しました。令和3年度決算は、歳入歳出とも過去3番目の規模。その要因はコロナ対策ですが、「コロナ関連を除けばどのくらいの規模か」との問いに、「歳入は過去2番目、歳出は過去5番目の規模」と回答。個人市民税の減少の要因、所得階層別の影響について聞いたところ、「コロナの影響もあり、年収200万円以下、400万円〜600万円の所得階層が減収」と回答。現年度収入未済は、コロナに起因する収入低下により、100万円以下の所得階層が多いと報告がありました。

〈水道事業会計〉

山岡議員は、給水栓数は3111栓増加しているのに、有収率が前年度より0.25%減となった要因を質問。地中の漏水が主な原因との回答。電話催告が増えた要因については、「コロナ禍で対面できないことによる増加で、定期的な訪問による対応が必要と回答がありました。」

岡田重美議員

〈介護保険特別会計〉

岡田議員は、サービス利用料の自己負担割合について質問、2割193人、3割112人を確認。特定入所者介護サービス費の延べ件数は前年度から444件、金額は4155万2千円の減となっていることに関して、昨年8月からの補足給付「食費・居住費に関する負担軽減制度」の見直しによる影響と確認しました。介護給付費準備基金へ1億3245万円を積み立て基金残高は6億7282万4千円です。基金を積み上げるより、介護保険料の引き下げが求められます。

特別養護老人ホームの8月1日時点の待機者数は281人、前年と比べ212人減少しているとの報告でした。

〈介護老人保健施設事業会計〉

岡田議員は、介護老人保健施設「ささゆり」で実践している「抱え上げない介護」による効果を質問。利用者にとって、身体的・精神的に安心でき、職員の腰痛リスクも低減しているとの説明をうけました。

西山実議員

〈国民健康保険特別会計〉

西山議員は、収入未済額3億6870万8千円、現年課税分6500万2千円について、収入未済に至った原因と今後の対応を問いました。また、不能欠損額の218件2024万3千円について、事由と欠損処理に至る取り組みの説明を求めました。答弁により生活困窮者への他部署との連携等を確認しました。

9月議会日程

- 9月8日(木)～13日(火) 本会議・一般質問
- 9月14日(水) 厚生文教常任委員会
- 9月15日(木) 産業建設常任委員会
- 9月16日(金) 総務常任委員会
- 9月20日(火)～27日(火) 予算決算常任委員会
- 9月30日(金) 本会議・委員長報告、討論、採決

ぜひ傍聴にお越しください。パソコン、スマホ、あいコムこうかでも視聴ができます。

「荒野に希望の灯をともし」中村哲が命をかけて教えてくれたもの



故中村哲医師のドキュメンタリー映画「荒野に希望の灯をともし」が、8月28日甲南町の矢川会館で上映されました。戦争させない甲賀市民の会」が呼びかけたもので、113名の参加で盛況でした(写真)。

中村医師は、アフガニスタンとパキスタンで35年にわたり、病や戦乱、そして干ばつに苦しむ人々に寄り添い、現地に溶け込んで命を救い、生きる手助けをしてこられました。住民とともに汗を流し、争いではなく、生きることを説き続けてきた人です。診療所の建設から始まり、学校併設のモスクの建設、さらに、アフガニスタンに建設した水路の水が、かつての干ばつの大地を恵み豊かな緑野に変え65万人の命を支えています。

映画を視聴した人からは、破壊ではなく平和を守ることが大切だと思えます。軍事費に使うお金を、自然を守るため、人の命を守るために使えば、どれだけ人の命を助け、大自然を美しく守れるか」など感動の声が多く寄せられました。

日本共産党

甲賀市議員団ニュース

2022年 9月11日 第417号



山岡 光広
甲南町森尻 16
Tel 86-2985
Fax 86-0415



岡田 重美
土山町南土山甲 78-15
Tel 66-0696
Fax 66-0696



西山 実
水口町本丸 3-28
Tel 62-3044
Fax 62-3044